

5. 現金給与総額

現金給与総額は2,664億円で、前年に比べ75億円増加(2.9%)、雇用者等1人当たり現金給与額(従業者4人以上)は559万円で、前年に比べ10万円増加(2.0%)となっている。

(1) 産業別状況

【産業別構成比】

現金給与総額の産業別構成比、22産業(秘匿産業を除く)のうち、生産用機械(473億円、17.8%)、はん用機械(371億円、13.9%)、金属製品(329億円、12.4%)などの順となっている。

【産業別前年比較】

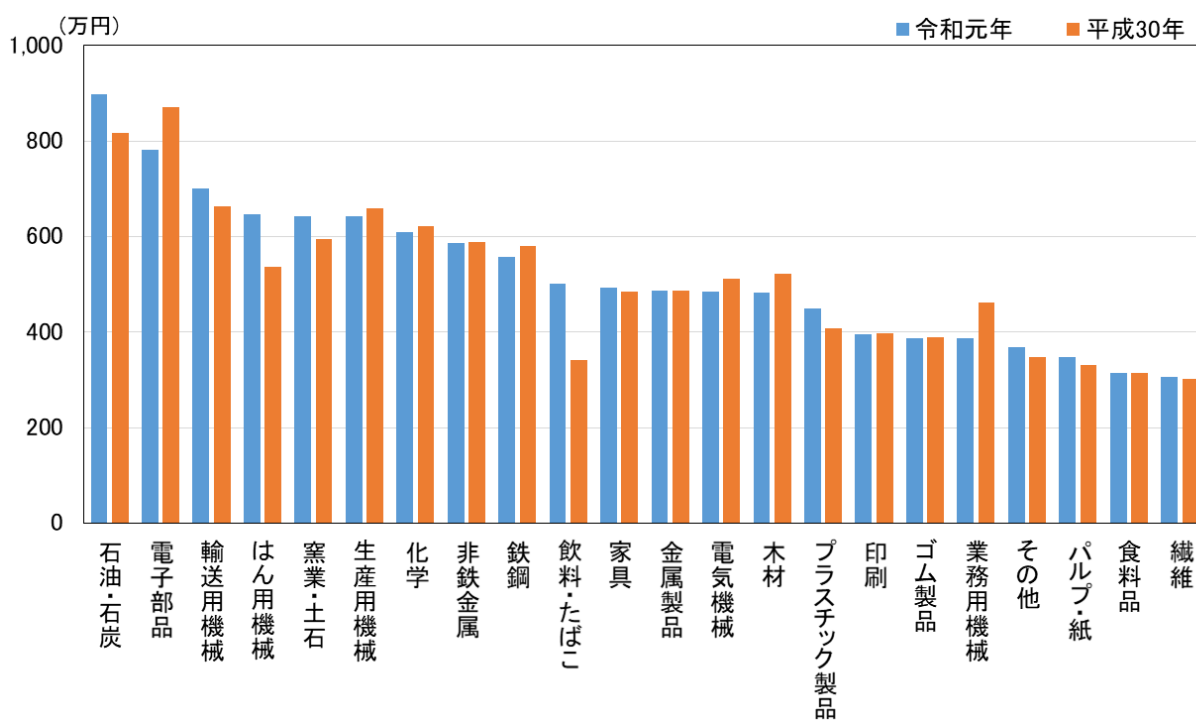
産業別の前年比較は、22産業(秘匿産業を除く)のうち、はん用機械(69億円、23.1%)、電気機械(11億円、17.1%)、プラスチック製品(7億円、14.3%)など11産業で増加し、電子部品(▲21億円、▲14.6%)、金属製品(▲8億円、▲2.3%)、鉄鋼(▲3億円、▲1.4%)など11産業で減少している。

【産業別雇用者等1人当たり】

産業別雇用者等1人当たり現金給与額は、22産業(秘匿産業を除く)のうち、石油・石炭(899万円)、電子部品(782万円)、輸送用機械(701万円)などの順となっている。一方、少ないのは、繊維(305万円)、食料品(315万円)、パルプ・紙(348万円)などの順となっている。

産業別雇用者等1人当たり現金給与総額の前年比較は、22産業(秘匿産業を除く)のうち、飲料・たばこ(159万円、46.5%)、はん用機械(110万円、20.4%)、石油・石炭(81万円、9.9%)など11産業で増加し、電子部品(▲89万円、▲10.2%)、業務用機械(▲74万円、▲16.1%)、木材(▲40万円、▲7.7%)など11産業で減少している。

第 23 図 雇用者等 1 人当たり現金給与額の産業別前年比較（従業者 4 人以上）



- ・雇用者等は、正社員・正職員等とパート・アルバイト等の合計である。
- ・秘匿産業：なめし革、情報通信機械

(2) 従業者規模別状況

雇用者等 1 人当たり現金給与額は、大規模層で 760 万円、中規模層で 500 万円、小規模層で 395 万円となっている。

雇用者等 1 人当たり現金給与額の従業者規模別前年比較は、大規模層で 45 万円増 (6.2%)、中規模層で 2 万円増 (0.4%)、小規模層で 6 万減 (▲1.5%) となっている。